

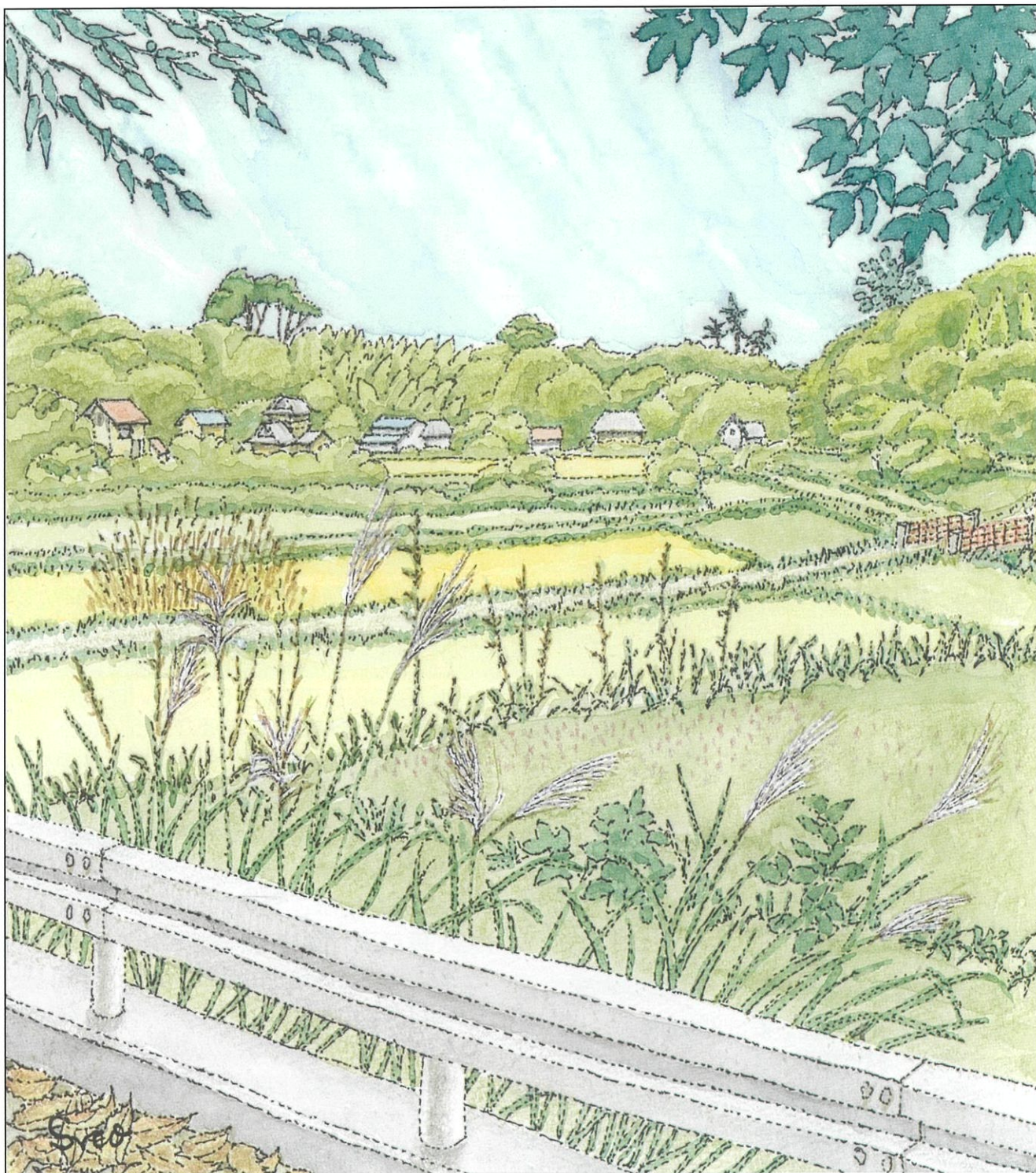
環境省の「生物多様性保全上重要な里地里山(全国 500カ所)」に「八千代市ほたるの里」が選ばれました！

# ほたるの里だより

八千代市ほたるの里づくり実行委員会 第66号 2021年10月



## 八千代市内の谷津風景（秋）



※この里だよりは 令和3年度 ちば環境再生基金助成金（県民の活動）を頂き作成しました。

## おや子生き物探検隊（夏の夜の生き物）7月28日（水）18：30～20：30

夏の夜の生き物観察を行いました。私はホテルメイトになって3年経ちますが、初めての参加でとても楽しみでした。参加者は、8家族（16名）、山崎講師、里スタッフ（10名）でした。

18時頃、おやこが集まり始め、19時頃ほたるの里に向けて新川沿いを出発します。

桜並木では羽化前のセミが高所を目指して歩いているよう。こども達は「中身が入っているセミ」が歩いていると騒いでいます。表現がなんともおかしく微笑ましく思いました。

里に近づくにつれ虫を集めるために仕掛けたハロゲンランプのトラップが見えてきました。19時半頃になると周りも暗くなり、我々人間も明るい方向に向かってそろそろ歩いている様子は人も虫も変わらないと思いました。

里に着くと2つのグループに分かれます。最初は山崎先生の野村式ホイホイによる昆虫観察に向かいました。先生がペットボトルのふたを開け白いトレーの中にひっくり返すと「おー」一気に歓声があがり、こども達は目をキラキラしてのぞいていました。中にはカブトムシ8匹、カナブン1匹程。カブトムシのオスは大きさが小さく、角が小さいものばかりでした。

先生の説明では、気温が高いと餌を食べる期間が短いため、小さくなるそうです。

ハロゲンランプの仕掛けでは、光に誘われニイニイゼミとシロスジカミキリ、ウスバカミキリが出てきてくれました。強風で集まらないことを懸念していたので、大成功でした。

20時頃、桜並木に戻りセミの羽化を観察。羽化が始まっていて、少し緑色っぽい羽がとてもきれいでした。

私も参加したおや子も楽しくとても貴重な時間を過ごすことができました。

（文責：板橋忠生）



## 親子で学ぶ「ほたるの里で考えてみようSDGs・ESDってなんだ」

7月31日（土）9：00～11：00

今回は第2弾としてSDGs 17項目の中の15番目「陸の豊かさを守ろう」を考えてもらう体験を開催しました。参加者は、5家族（13名）、里スタッフ（12名）でした。

「地球のために私ができることさがしパネル」でSDGsと身近な行動につなぐことを体験してもらった後、コロナ対策を考え、池、湿地、森の3つの場所を3班に分けてほたるの里の中を探検しました。

魚やウシガエルのおたまじゃくし捕り、ザリガニつり、網や手で虫を捕る子。植物について聞いてくる子。みんな生き生きとしています。ウシガエルのおたまじゃくしは色々な大きさがいてびっくり！？ ドジョウや追い込み漁で小さな魚を捕って早速、観察箱に入れて見ていました。カブト虫やクワガタを

捕まえた子はどこにいるか知っているようでうれしそうに皆に見せていました。貴重な生き物たちにも出会いました。

アンケート結果からも里には色々な植物や生き物がある事を観察して保護していかななくてはいけないと感じたようです。

ほたるの里は生き物に触れる学びの場所であり、生き物は持ち出す事が出来ず最後は戻してあげました。里が出来て25年近くなり里らしくなってきましたが、人の手を入れる事で成り立っています。自然の観察や手入れに子どもも大人も手を貸して頂ければうれしいです。そして、いつまでもこの自然が維持できずと住み続けられる地球でありますように！

（文責 武田みどり）

## ほたるの里へようこそ！ ボーイスカウト八千代第5団 ビーバー隊

7月18日(日) 10:00~12:30

元気よく、ボーイスカウトビーバー隊が里にやってきました。参加者は、16名と里スタッフ2名でした。

まず、隊長の指導のもと、初めにボーイスカウトの歌を唄い、安全のための注意などをきいてから、トンボ池や水路でザリガニ釣りを始めました。

付き添いの女性から、ここは涼しくてとても気持ち良いですね！と話かけられました。当日は梅雨明け後の強い日差しでしたが、涼しい風が吹いていました。周囲の田んぼに水が張られて水の上の空気が冷やされるので、涼しい風が吹いてくるのですよ！と言うと納得されたようです。ほたるの里も開設から20年以上たち、樹木が大きくなり、枝をひろげて日差しをさえぎり涼しさを与えています。

子どもたちのザリガニ釣りは、思うようにいかないようで、ザリガニがいそうな水草のある所や、石の脇などに釣り糸を垂らしていますが、なかなか掛かりません。掛かっても引き上げが強い



と途中で逃げてしまい、引き上げのタイミングに工夫が必要です。結局6人は何とかザリガニをゲットしましたが、1人の女の子はゲットできなかったようです。

緑多く涼しい環境のもと、短い時間でしたが、子ども達には自然体験の良い思い出になったのではないのでしょうか。参加の子ども達はまだホタルを見たことが無いとの話で1つの課題を感じました。

(文責：深澤一郎)

## ほたるの里へようこそ！ ボーイスカウト八千代第4団 ビーバー隊

7月25日(日) 10:00~12:30



ボーイスカウト八千代第4団ビーバー隊が、津田隊長を先頭に23名が、ほたるの里にやってきました。

ほたるの里からは、スタッフとして、桑波田、坂本で対応しました。最初に桑波田副会長からほたるの里の概要を説明し、里を通してのSDGs 15「陸の豊かさを守ろう」についてお話をしました。SDGsについて、子どもたちは学校で学んでおり知っている様子で、皆熱心に耳を傾けていました。

また、お父さんお母さんたちは里について大変に関心を示し、ホタルは飛ぶのか？この里ができて何年程かとか等の質問をいただきました。

その後、津田隊長から本日の予定、注意事項等話があり、トンボ池や水路でザリガニ釣りが始まりました。子どもたちは大はしゃぎです。さっそく、大物を釣り上げ歓声を上げる子ども。バケツの中で赤いハサミをかざして威嚇するザリガニ。小さいザリガニだけのバケツもあります。



なかなか釣れなくて悪戦苦闘の子どもたちもいましたが、6匹連れた子どもが一番でした。

最後に、里のリーフレットを配布して終了しました。コロナ禍の中、屋内外での活動が制限されています。安全対策を取りながら活動し、成長盛んな子どもたちに、生き物や自然と人とのつながりなど体感してもらいたい！と思います。

(文責：坂本金重)

里の整備作業（6月・7月）・・・with コロナ対策（8月・9月：中止）



6月草刈りエリア



ヤブカンゾウ



7月は、22名の参加がありました

里からのお知らせ

ヘイケボタルの飛翔調査結果

2020年～2021年と2年間幼虫を放流しないで、「自生」の実証実験をしました。



調査期間：6月20日～7月31日、調査時間：19:00～20:30

調査は、ほたるの里の役員が担当しました。この期間は残念ながら飛翔確認できませんでした。

調査期間中、約40名の里への来訪者が市内外からあり、里の紹介やホタルや他の生き物などについて交流ができました。（里役員会）

「エコメッセ 2021in ちば」に オンライン出展しました ご覧ください！

「エコメッセ 2021in ちば」は、SDGs 達成を目指し、環境について子どもから大人まで体験しながら学ぶ環境活動見本市で、今年で26回目です。昨年から新型コロナウイルス対策として全てをオンラインで開催しています。県内外の活動を紹介する、オンライン（動画配信）に、ほたるの里づくり実行委員会も出展しました。ぜひご覧ください。

エコメッセHP：<https://www.ecomesse.com>

エコメッセテーマ：Prosperity：笑顔あふれる未来を創ろう

開催日：2021年10月16日（土）～17日（日） オンライン（動画配信は16日スタートし2022年のエコメッセ開催日の前まで配信しています）

・ ・ ホタルメイト募集中 ・ ・

●年会費（4月～翌年3月） ※登録期間は1年間。

個人 1世帯1,000円

市民団体・事業所 1口 2,000円

詳しくは、事務局までお問い合わせください。

〔 ほたるの里 連絡先 〕

八千代市ほたるの里づくり実行委員会事務局

〒276-8501 八千代市大和田新田 312-5

八千代市環境政策室 内

Tel：047-421-6767

E-mail：[kankyou1@city.yachiyo.chiba.jp](mailto:kankyou1@city.yachiyo.chiba.jp)

<http://www.city.yachiyo.chiba.jp/123508/page000009.html>

<http://genki365.net/gnky/mypage/index.php?gid=G0000043>

〔 編集 〕 広報部会・事務局

